

第9回日本がんサポーターケア学会学術集会プレイベント市民公開講座 2024年2月17日

がんになっても尊厳をもって安心して暮らせる社会へ 2024

## 診察室の内と外 からの 患者・市民参画

帝京大学医学部緩和医療学講座  
有賀悦子



医療には、患者さん・市民の参画  
がなくてはならないのです



## 診察室の中で

## ある膵癌（神経内分泌腫瘍）の患者さんのこと

### 患者さんが抱えていた問題

イリノテカンで下痢をするんです。

止痢剤は飲んでます。

下痢が怖くて、食事がとれません。



### もう少し詳しく聞いてみました。

イリノテカンを投与した後、下痢をするのが怖いので、  
投与した日から3日間止痢剤を内服。

その後、下痢はしないので、止痢剤をやめると便の回  
数が増え、1日10回位下痢をしています。

## この話を聞いて、医師は何を考えているか・・・

### イリノテカンの下痢の特徴

タイプ	いつ	なぜ(原因)		対処方法
早発性下痢	投与中～1日目	薬のコリン作用	刺激	抗コリン剤(コリン作用を打ち消す)
遅発性下痢	4～14日目頃	活性代謝物の腸粘膜障害	炎症	止痢剤、アルカリ化剤・漢方薬(代謝物を作りつらくする)

患者さんの下痢は、どちらのタイプの下痢が知りたい。

そこで・・・

お通じ日記をつけてみましょう！  
抗がん剤投与後の最初の数日間、早発型かみるために下痢止めの予防投与は控えてみましょう。  
心配なときは、平日昼間にいつでもお電話ください。



## お通じ調整作戦開始前の日記

10月	お通じ	性状	下痢止め	食欲
1日	1	普通	-	5
2	1		-	
3	0		-	
4	1		-	
5	2	普通	-	
6	1		-	
7	3		-	6
8	5		+	
9	4	軟	-	
10	6	泥～水	+	2
11	10	水	+	1
12	9	水	+	1
13	5	泥	+	1
14	3	軟	+	1

10月	お通じ	性状	下痢止め	食欲
15日	0		+	4
16	0		-	
17	2	硬	+	
18	0		+	6
19	0		-	
20	3	硬	-	6
21	1	普通	-	
22	1		-	8
23	3		-	
24	1		-	
25	2		-	8
26				
27				
28				

## お通じ調整作戦

丁寧な記録のお陰で、**遅発型**下痢症と判明！

- ① イリノテカン投与後、止痢剤は7～14日目まで内服し前後は飲まない。
- ② 最初の予防投与はなしで大丈夫  
初めの便秘はイリノテカンの代謝産物をためてしまい、下痢を悪化させます。  
予防投与はせず、便は下痢の原因物質を出してくれているという感覚でいきましょう。
- ③ 漢方薬について  
下痢の原因物質ができるのを抑え、腸粘膜の炎症を抑えてくれる傾向のある漢方薬。  
効果には個人差が大きいし、飲み辛いデメリットもあります。  
半夏瀉心湯を次の1か月内服し、効果を試みるという選択肢も。

## お通じ調整作戦開始後の日記：漢方薬は毎日

11月	お通じ	性状	下痢止め	食欲
1日	1	普通	-	6
2	1		-	
3	1		-	
4	1		-	
5	2	普通	-	
6	1		-	
7	2		+	6
8	2		+	
9	1	軟	+	
10	4	泥	+	5
11	4	泥	+	
12	3	軟	+	5
13	2	軟	+	
14	2	普通	+	4

11月	お通じ	性状	下痢止め	食欲
15日	1		-	
16	2		-	
17	2	普通	-	
18	1		-	6
19	0		-	
20	2		-	8
21	1	普通	-	
22	1		-	8
23	3		-	
24	1		-	
25	2		-	8
26				
27				
28				

## 診察室での症状緩和は患者さんとの共同作業

1

症状を取る薬をただ処方すれば、よくなるわけではない。

2

作戦が大切。

3

症状、パターン、強弱などは、患者さんにしかわからない。

4

診察室の中の参画は、速やかに、患者さんが利益を得られることを目指す。

## 診察室の外で

## 患者・市民参画とは

### Involvement (参画)

計画段階からデザイン、管理、評価、普及までパートナーとして関わる

### Engagement

医療者が意見を聴き、反映させたり、終了後に結果や知識を社会と共有する等の部分的関わりから、ガバナンス、優先順位設定、研究等における協力関係としてInvolvementと同義に使用されることもある。

### Participation (参加)

名前が入っている  
傍聴する  
被検者になる

Patient and Public Involvement (PPI) means actively working in partnership with patients and members of the public to plan, manage, design and carry out research. It is "Research being carried out 'with' or 'by' members of the public rather than 'to', 'about' or 'for' them" (National Institute for Health Research (NIHR), UK)

患者・市民参画とは、患者や市民と共に計画、管理、デザイン、研究の遂行をパートナーとして実行していくことを意味する。

“市民のために”ではなく、“市民とともに”実施されるものである。

患者・市民参画とは、「患者やその家族、市民の方々の経験や知見、想いを積極的に将来の治療やケアの研究開発、医療の運営などのために活かしていこうとする取り組み」のこと (PPI-Japan)

参画の場	診察室の中	診察室の外
効果はいつ	すぐ	時間がかかる
誰のため	自分(患者) 家族	社会、次世代

## 国も患者・市民参画を広げようとしている

### 第4期がん対策推進基本計画

(令和5年(2023年)3月閣議決定)

4. これらを支える基盤整備  
(5) 患者・市民参画の推進

国は、これまでがん研究分野で推進されてきた、がん患者及びがん経験者の参画の取組に係る知見について、患者・市民参画に関する研究成果も踏まえ、各分野への横展開を行う。

国は、患者・市民参画を推進するに当たって、参画する患者・市民への啓発・育成を行う。

また、医療従事者や関係学会に対しても、患者・市民参画に係る十分な理解がえられるよう、啓発等に取り組む。

がん対策では

「がん患者を含めた国民が協力して、取組を進めていくことが必要」で、

「多様な患者・市民が参画できる**仕組みの整備**」

と

「患者・市民参画に係る**啓発・育成の推進**」

が大切

がん研究 患者・市民参画マナビの広場

